

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月11日
事業名	特定健康診査事業	担当課・係名	町民課 保険年金係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	69
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成20年度

2. 事業の概要

目的 (何のために)	特定健診、特定保健指導は、メタボリックシンドロームに着目し、その要因となっている生活習慣を改善するための保健指導を行うことで、糖尿病等の有病者や予備群を減少させ、ひいては国民医療費を減少させることが目的です。				
対象 (誰を・何を)	40歳から74歳までの国民健康保険加入者				
内容	中郡医師会大磯班に委託する施設健診及び県予防医学協会に委託する集団健診を6月～12月の間で実施する。 <基本的な健診の項目> 身体計測（身長、体重、BMI、腹囲、理学的検査、血圧測定、血液化学検査、肝機能検査、尿検査） <詳細な健診の項目> 心電図検査、眼底検査、貧血検査				
根拠法令・条例等	高齢者の医療の確保に関する法律				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	12,611	12,641	14,892
	国庫支出金	千円	2,299	2,988	3,407
	県支出金	千円	2,953	2,970	3,407
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	7,359	6,684	8,078
	職員人数 (概算職員数)	人			0.71
	人件費計 (b)	千円			2,980
総事業費 (a)+(b)	千円	12,611	12,641	17,872	
事業費内訳	賃金：381千円 需用費：418千円 役務費：1,632千円 委託料：12,461千円				
H 25 年度					

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 対象者数	人	6,919	7,291	7,420
	②				
活動指標 (活動量)	① 受診者数	人	1,681	1,848	2,226
	② 事業費 (直接事業費)	千円	12,611	12,641	14,892
成果指標 (達成度等)	① 受診率	%	24.3	25.3	30.0
	② 一人当たりの費用	円	7,502	6,840	6,690

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 高齢者の医療の確保に関する法律により保険者の実施が義務付けられている。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 スポーツ健康課と連携し、受診率向上のためがん検診等との同時受診を行っており、検診項目等も増やし充実を図っているが、より受診率の向上を目指す必要がある。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input checked="" type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 特定健康診査の検査項目の内容から、かかりつけ医に定期的に受診する方に、受診しないケースが見受けられ、受診率向上につながっていない。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 集団健診を実施することで、効率的な実施を図っている。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 特定健診を国民健康保険被保険者の多くが受診することで、医療費の減少を目指すものであり、受診者数増や健診項目の充実等により委託料等の支出は削減されることはない。
	担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 受診率の更なる向上を目指す取り組みを行う必要がある。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	特定健診の受診率を上げるため、自己負担金の無料化や検査項目の充実を図る。
② 平成26年度に着手する事項	自己負担金を無料化した場合の効果や集団健診項目の充実を図るための検討、医師会と調整を図った中で施設検診の検査項目を充実（心電図等の実施）させた中での集団健診を止めた場合のメリット・デメリット等を検討する。
③ その他（課題、調整事項等）	町民課とスポーツ健康課が連携して事業を行っているが、主管課を一本化する必要性が高い。

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

平成25年度実施した町保健師による健診結果説明会の充実を図る。 乳がん・子宮がん検診と同時受診可能な日程を設定する。 健診時の有料検査項目の見直しを図る。
---